

令和 8 年 3 月 13 日  
中山間地域支援・移住促進課

## 質問回答

令和 8 年度富山県地域おこし協力隊の募集に関する業務委託公募型プロポーザルについて以下のとおり質問がありましたので、回答いたします。

質問①	Meta 広告を活用したい場合、活用するアカウントの指定はございますでしょうか。
(回答)	指定はありません。最も効果的なアカウントを提案してください。

質問②	既存の広報アセット（県公式 WEB・SNS 等）の一覧開示について 仕様書 4(2)にて『SNS や WEB サイト等を利用した周知を行うものとする』とありますが、初期プロモーションの立ち上げを迅速かつ効果的に行うため、県が現在運用されている移住関連サイトや SNS 等の既存アセットを連携・活用したいと考えております。つきましては、本業務において受託者が活用（または県へ発信依頼）することが可能な県の公式 WEB サイトおよび SNS アカウント等の具体的な一覧（媒体名、アカウント名等）をご教示いただけますでしょうか。
(回答)	<p><b>【WEB サイト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・富山県公式ホームページ (<a href="https://www.pref.toyama.jp/">https://www.pref.toyama.jp/</a>)</li><li>・「くらしたい国、富山」公式 HP (<a href="https://toyama-teiju.jp/">https://toyama-teiju.jp/</a>)</li></ul> <p><b>【SNS】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・とやま移住 Facebook (<a href="https://www.facebook.com/toyama.iju/">https://www.facebook.com/toyama.iju/</a>)</li><li>・とやま移住 Instagram (<a href="https://www.instagram.com/toyama.iju/">https://www.instagram.com/toyama.iju/</a>)</li><li>・とやま移住 X (<a href="https://x.com/toyama_iju">https://x.com/toyama_iju</a>)</li><li>・とやま移住 note (<a href="https://note.com/toyama_ijyu">https://note.com/toyama_ijyu</a>)</li><li>・とやま移住 LINE (<a href="https://page.line.me/236wnzxc?openQrModal=true">https://page.line.me/236wnzxc?openQrModal=true</a>)</li><li>・地方移住の情報発信【富山県公式】Instagram (<a href="https://www.instagram.com/chihouijuu_info/">https://www.instagram.com/chihouijuu_info/</a>)</li><li>・地方移住の情報発信【富山県公式】YouTube (<a href="https://www.youtube.com/@地方移住の情報発信">https://www.youtube.com/@地方移住の情報発信</a>)</li><li>・地方移住の情報発信【富山県公式】TikTok (<a href="https://www.tiktok.com/@chihouiju_info">https://www.tiktok.com/@chihouiju_info</a>)</li><li>・富山で何しとるん YouTube</li></ul>

([https://www.youtube.com/@nanishite\\_toyama\\_official](https://www.youtube.com/@nanishite_toyama_official))

・富山で何しとるん Instagram

([https://www.instagram.com/nanishite\\_toyama\\_official/](https://www.instagram.com/nanishite_toyama_official/))

【その他】

・「くらしたい国、富山」メールマガジン

質問③ 仕様書の4の(3) 隊員希望者のスカウトについて、既存の SMOUT のアカウントを利用してスカウトを行うことは仕様書の要件を満たしますか。  
あるいはリクルートや doda・マイナビなどの大手ダイレクトスカウトサイトの利用が必須でしょうか。

(回答)

既存の SMOUT アカウントを利用してスカウトを行うことで仕様書の要件は満たしますが、より効果的なサイトや手法があれば提案いただきたいと思います。

質問④・  
⑤ ・求人において、「どれだけ適切に露出するか」と同じくらい、「そもそも魅力的な案件設計になっているか」が効果を出すために重要なのですが、募集条件については協議の余地はありますでしょうか。  
・募集要項のブラッシュアップ(要件再定義)の実施可否について 仕様書4(1)アにて「元となる募集要項を作成済みのため、その要項を参照し作成」とありますが、本業務において広告効果やマッチング精度をさらに最大化するため、受託後に当社から県担当各課へ業務内容や現場の課題等をヒアリングさせていただき、ペルソナや訴求軸を再定義(ブラッシュアップ)した上で記事や 広告に反映させる工程を提案に組み込むことは可能でしょうか。

(回答)

募集案件については、総務省の地域おこし協力隊アドバイザー派遣制度を活用し、ブラッシュアップを図っています。また、令和8年5月1日に募集を開始するため、時間の制約がありますが、可能な範囲で協議・ブラッシュアップを図っていきたいと思います。

質問⑥ 求める人物像及び任期終了後の出口イメージについて HP 等にて、現在公開されている令和7年度採用に向けた各ミッションの募集要項等を拝見いたしました。より精度の高いペルソナ設定と広告クリエイティブをご提案するため、各ミッションにおいて県が想定されている「絶対に外せない人物像の要件(マインドセットや経験等)」と、3年後の任期終了後に期待する「出口イメージ(県内での起業、県庁への定着など)」についてご教示いただけますでしょうか。

(回答)

現時点の案であり、未確定ですが、別紙のとおりお示しします。

質問⑦	過去の採用活動における課題感について 今年度の募集（5名募集に対し3名採用と認識しております）を含め、前年度までの協力隊募集において、県として特に課題と感じられている点（例：特定の層へのリーチが弱い、関心層は集まるが応募・採用に至らない等）がございましたらご教示ください。
-----	--

（回答）

令和7年度の募集では、5名募集に対し4名を採用しています。また、採用した4件の募集では、38名・併願を含めると43件の応募がありました。一方で採用に至らなかった1件の募集では、2名の応募しかありませんでした。

採用に至らなかった募集は、そもそも募集案件に魅力が不足していたり、求める人材と条件のミスマッチがあったりした点に課題を感じていたため、現在企画している案件では、ミッションの内容や現場の課題感などのその背景、求める人材を丁寧に棚卸しし、求める人材に刺さる魅力的な募集案件になるようブラッシュアップをしているところです。

質問⑧	選考プロセスにおける「おためし地域おこし協力隊」等の実施有無について 令和7年度採用に向けた募集要項を拝見したところ、選考プロセスに「おためし地域おこし協力隊」や「カジュアル面談」が組み込まれておりましたが、本業務（令和8年度募集）においても、県として同様のプロセスを実施される想定はございますでしょうか。
-----	---

（回答）

令和8年度は、おためし地域おこし協力隊は実施しません。カジュアル面談については実施予定ですが、県で直接実施し、受託事業者に依頼することは想定していません。